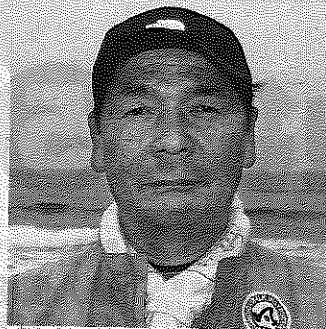


鳥取でトレイル国際大会

鳥取県をトレイル(ウォーキング・トレッキング)の聖地にしよつといふ動きが活発だ。16、18日にはアジアの関係者が集う「アジア・トレイルズ・カンファレンス(ATC)」を開催。来秋には世界大会「ワールド・トレイルズ・カンファレンス(WTC)」も開かれる。大会招致に奔走したNPO法人未来(鳥取県倉吉市)の岸田寛昭理事長に狙いなどを聞いた。

岸田 寛昭さん



(きしだ・ひろあき) 1954年鳥取県倉吉市生まれ。1982年神戸学院大学法学部卒業。鳥取県立由良高等学校教諭、同県組合員会を設立。2004年にNPO法人「未来」を創設し、理事長として活躍。現在は、経営者としての経験を生かして、地域の活性化にも関わっている。

「歩くリゾート地」売り込み

「ATCは盛況のうちに実感していた。幕を閉じました。」

「WTC、ATCとはどのような大会・組織ですか。」

「ATCは予行演習の意味合いがあるプレ大会だ。世界大会に向け課題の洗い出しなどを目的に、湯梨浜町の東郷湖周辺や倉吉市の打吹山、三朝町の三朝温泉と三仏寺を巡るコースを設けた。三朝温泉は足湯を体験してもらったり、朝市を巡るコースも設けた。三朝温泉は、湯梨浜町の東郷湖周辺や倉吉市の打吹山、三朝町の三朝温泉と三仏寺を巡るコースを設けた。三朝温泉は、足湯を体験してもらったり、朝市を巡るコースも設けた。」

「ATCは予行演習の意味合いがあるプレ大会だ。世界大会に向け課題の洗い出しなどを目的に、湯梨浜町の東郷湖周辺や倉吉市の打吹山、三朝町の三朝温泉と三仏寺を巡るコースを設けた。三朝温泉は、足湯を体験してもらったり、朝市を巡るコースも設けた。」

「016年10月14、17日の4日間開かれる。」

「ATCは予行演習の意味合いがあるプレ大会だ。世界大会に向け課題の洗い出しなどを目的に、湯梨浜町の東郷湖周辺や倉吉市の打吹山、三朝町の三朝温泉と三仏寺を巡るコースを設けた。三朝温泉は、足湯を体験してもらったり、朝市を巡るコースも設けた。」

「参加者が1200人超と予想を上回ったこともあるが、参加者が満足してくれたのがよかった。あるコースで韓国からのグループがいつまでも帰って来ず何かとあったら、ボランティアが商店街で行っていた甘酒などの振る舞いサービスを気に入ってくれて、そこで地元の人と歓談していた。昔ながらの商店街でも、旅行者は面白がってくれる。それを地元の人

「ATCは予行演習の意味合いがあるプレ大会だ。世界大会に向け課題の洗い出しなどを目的に、湯梨浜町の東郷湖周辺や倉吉市の打吹山、三朝町の三朝温泉と三仏寺を巡るコースを設けた。三朝温泉は、足湯を体験してもらったり、朝市を巡るコースも設けた。」



先ゆく韓国・済州

「記者の目」ウォーキング・トレッキングを生かした地域・観光振興の成功例は、韓国・済州島だ。2000年代初頭から、森や山、海岸などを自分のペースで回れるコースが多い。宿泊が

「基本で、関連観光が地域経済を支える柱の一つになっている。日本では、健康づくりの側面が強いウォーキング。鳥取の取り組みは、新しい側面を広めるきっかけとなりそうだ。」

「鳥取支局長 船越純二」

「工夫もした」

「なぜ鳥取でトレイルを始めたのですか。」

「01年から続くウォーキングイベントがきっかけだ。このイベントには毎回、地元の高校生がボランティアなどで参加してくれている。『来た人に街を案内して、自分の住む地域の魅力が分かった』などの感想が多かった。大会が地域の未来を担う人材を育てることも貢献できるだろうと、04年に大会の運営組織を中心にしてNPO法人を立ち上げた。」

「トレイルは地域活性化にもつながりますか。」

「済州島の関係者などとの交流を続けるうちに、健康増進だけではなくトレイルの魅力を知った。同島ではトレイルの途中に立ち寄れるカフェやゲストハウスが数多くでき、地域を支えている。鳥取は砂丘に代表される海岸線や手つかずの自然が多く、歩くには魅力的な土地。我々の造語だ『ウォーキングリゾート』として大いなる可能性があると思うている。」